

# 陸 上

## 総合体育大会

大会結果	<b>【総合】</b>	<b>優勝</b>	菊川西	<b>準優勝</b>	掛川北	<b>3位</b>	掛川東
	<b>【男子】</b>	<b>優勝</b>	菊川西	<b>準優勝</b>	岳洋	<b>3位</b>	掛川北
	<b>【女子】</b>	<b>優勝</b>	菊川西	<b>準優勝</b>	掛川北	<b>3位</b>	浜岡

## 大会寸評

菊川市立菊川西中学校 鈴木 瑛志

平成28年度小笠地区中学校陸上競技大会は、8月1日にエコパスタジアムで行われました。本大会には、男子100mで全国大会、男子走幅跳で東海大会出場を決めた原巧選手（御前崎中3年）、東海大会出場を決めた男子800mの松下直於人選手（菊川西中3年）、女子走幅跳の植田真野選手（御前崎中3年）、女子100mHの松下里帆選手（菊川西中2年）、男子1年100mの名波大輝選手（浜岡中1年）、女子1年100mの山本記子選手（桜が丘中1年）、男子低学年リレーの浜岡中、女子低学年リレーの菊川西中と県大会などで活躍した多くの選手が出場しました。また、本大会では男子共通走幅跳で原巧選手（御前崎中3年）が6m65の大会タイ記録、女子1年100mにて山本記子選手（桜が丘中1年）が13秒09、丹羽花香選手（菊川西中1年）が13秒15、女子低学年4×100mRで菊川西中が52秒29と大会記録を破る活躍も見られました。

運営面に関しては、今大会は8月での開催となったことや菊川市の教育講演会と重なったことにより、教職員の役員派遣が難しくなりました。そのため、陸上競技協会の方への協力を例年より増やし、また、補助員も掛川西高校だけではなく、袋井高校や掛川工業高校の生徒にも御協力いただき大会運営に貢献していただきました。様々な方の支えもあり、準備、進行を円滑に行うことができました。課題としては、例年上げているように、陸上競技協会の公認審判資格を取得している顧問の先生が小笠地区は少なく、陸上競技協会の方の助けなくしては大会運営が厳しいことです。写真判定室の機器の扱いやスタート器具の設置など専門的な知識を要しますが、今後は顧問の審判資格取得も進めていき自力での大会運営を目指していきたいと思えます。

団体の部の結果は、総合の部では、トラック種目を中心に全種目で活躍した菊川西が優勝、女子の活躍が著しかった掛川北が準優勝、男女共に幅広く活躍した掛川東が第3位でした。男子の部では優勝が菊川西、準優勝が岳洋、3位が掛川北でした。女子の部では優勝が菊川西、準優勝が掛川北、3位が掛川北でした。3校とも競技に臨む姿勢のみならず、率先して準備片付けなどを手伝う姿や仲間を全力で応援する姿は非常にすばらしいものでした。

最後に、本大会がスムーズに運営できたのも、当初より計画や準備に携わっていただきました諸先生方の御尽力と、大会当日にご協力くださった各校の諸先生方や役員の方のおかげであります。また、本年度も暑い中での大会でした。先生方や役員の方々には、熱中症対策にも細心の注意を払っていただき感謝しています。ここに記して厚く御礼申し上げます。

## 優勝作文（総合の部・男子の部）

菊川市立菊川西中学校 松下 直於人

私たち菊川西中学校陸上競技部は昨年果たすことができなかった男女アベック優勝での総合優勝を目標として、日々の練習に取り組みました。練習は時につらくやめたくなるときもありました。でも、そんなときはいつも仲間と支え合いながら乗り越えてきました。試合では一人ひとりが個々の目標を達成しようと全力で戦い抜き、それを全員で応援して支える、私たちの理想としていたチームが自分たちの手で作り出されました。特にリレーではゴールした瞬間、みんなで喜び合いました。ずっと部で志していた「感動共有」することができ、チームが一つになりました。結果も去年果たせなかった男女アベック優勝での総合優勝をとることができました。私たち3年生にとってこの中体連は一生忘れない最高の思い出となりました。また、このような結果は熱心に指導して下さった顧問の先生、支えてくれた家族、そしていつも一緒に練習を行ってくれた仲間の存在があったからです。そんな恵まれた環境の中で陸上競技を行うことができ、最高の3年間となりました。

## 優勝作文（女子の部）

菊川市立菊川西中学校 丹羽 亜有奈

みんなで感動を共有し、最幸の笑顔で終えた中体連。男女総合優勝という目標を達成したこの夏は忘れられないものとなりました。この日のためにどれくらい練習を重ねてきたか、どれくらい悩み戦ってきたか。考えるだけで胸がいっぱいでした。昨年にもまして、厳しい冬季練習。体力的にも、精神的にも、自分を追い込みました。放課後に行う練習は、「休日の練習か」と思うくらいのメニューをこなしました。決して簡単なことではなかったけれど、乗り越えることができたのは仲間の存在があったからです。一緒に戦い、励まし合ってきたからこそ、どんな練習でも逃げずにやり切ることができたのだと思います。来年の仲間と支え合い、目標を達成してもらいたいと思います。